

TOTO

電気温水器付洗面化粧台(自動水栓) ウォールキャビネット組立・設置説明書


LDA604AYH・LDA604BYH・LDA754AYH・LDA754BYH
LWZ600・750

製品の機能が十分に発揮されるように、この説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。



☆安全上の注意

- 取付前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
- この説明書では、商品を安全に正しく取り付けいただくために、必ずお守りいただくことを、お知らせしています。
使用者や他の人々への危害や物的損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

 この記号は、禁止の行為であることを告げるものです。


- 本体と同梱されている取扱説明書は、お客様にお渡しする大切な書類です。
紛失や汚れが生じないように大切に保管し、取付工事完了後、引き渡し時にお客様にお渡ししてください。

表示	意味
 警告	この表示を無視して、誤った取り付けをすると、 ● 死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り付けをすると、 ● 人が損害を負う可能性が想定される内容 ● 物的損害の発生が想定される内容 を示しています。

警告


アース工事を行う(D種接地工事)
また、漏電遮断器を取り付ける

漏電により感電する
原因になります。

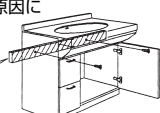

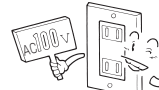



電気コードを傷つけない


電気コードを傷付けると火災の原因になります。
特に壁固定の際は気を付けてください。




警告

壁固定ねじ取付位置に木さんを入れて補強する 	水道・電気工事は、関連する法令・規定に従って必ず、「有資格・指定業者」が行う 	電源はAC100Vを使用する AC100V以外を使用すると過電流による火災の原因になります。 	浴室など湿気の多い場所へ設置しない 漏電により感電する原因になります。 
---	--	---	--


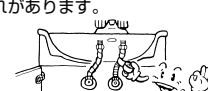


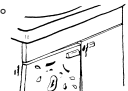
注意

 必ず連結管内の水抜きがスムーズにできる勾配で取り付けください。
(凍結した場合、破損し水漏れする原因となります)

 水道水以外は通水しないでください。
(井戸水などを通水すると腐食などにより水漏れする原因となります)

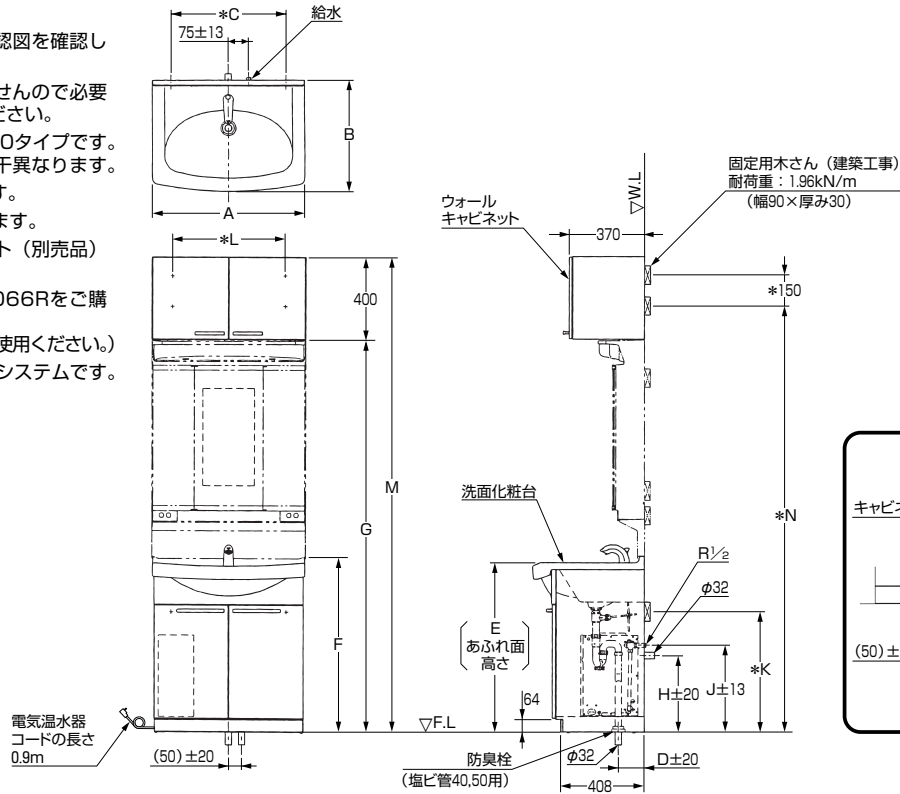
タンクが空のときは、絶対に電源スイッチを入れないでください。
(空焚きとなり故障・事故の原因となります)

注意

湯・水を逆に配管しない 	凍結のおそれがある地域では、必ず凍結防止工事を行う 凍結破損で水漏れし、家財などに損害を与えるおそれがあります。 	工事完了後、給排水管から水漏れがないことを必ず確認する 水漏れを起こすと、家財などに損害を与えるおそれがあります。 	カウンター・洗面器の上に乗らない 故障および転落・転倒してケガの原因になります。 	取付完了後、キャビネットの固定・扉の傾き・ガタツキ・丁番のゆるみがないかを必ず確認する 使用中にキャビネット・扉が落下してケガをする原因になります。 
--	--	---	--	--

☆設置寸法

- 特殊品の場合の取付寸法は承認図を確認してください。
- 壁排水パイプは付属していませんので必要な場合は、LO94をご購入ください。
- 図はLDA754BYH+LWZ750タイプです。その他の機種は外観形状が若干異なります。
- *印は、木ねじ位置を示します。
- () 寸法は600サイズを示します。
- 床給水の場合は床給水ユニット (別売品) LO87をご購入ください。
- 配管王をご使用の場合は、LO66Rをご購入ください。
(洗面化粧台に同梱の止水栓をご使用ください。)
- 配管王とは、TOTOの樹脂配管システムです。

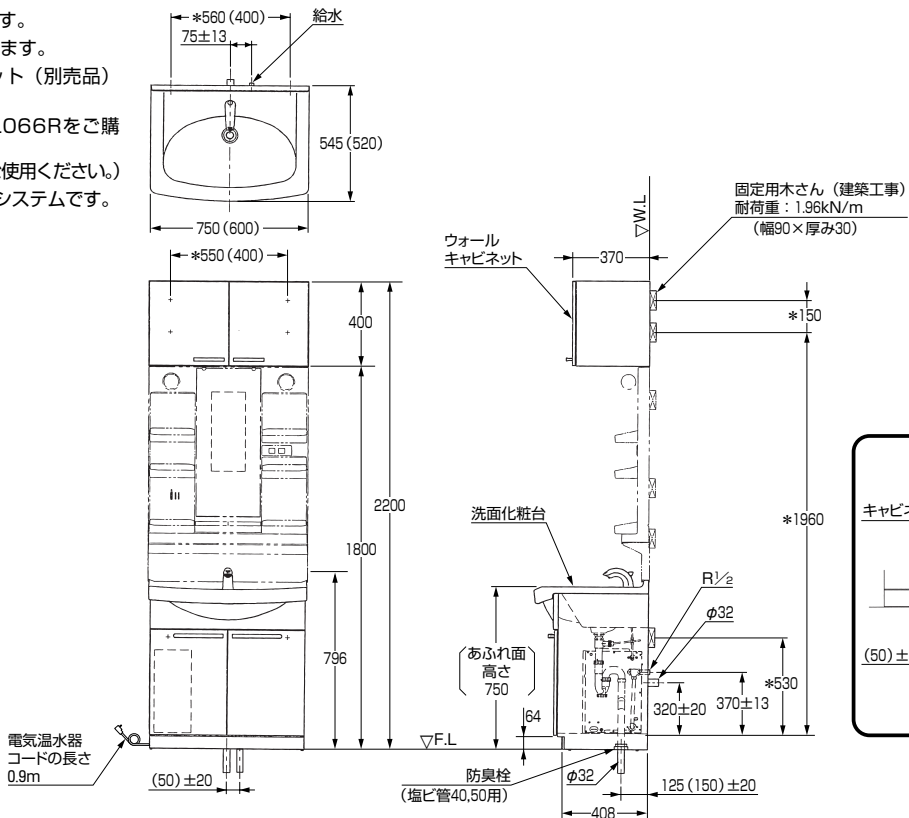


洗面化粧台製品品番	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K
LDA604AYH	600	520	400	150	750	796	1850	320	370	530
LDA604BYH	600	520	400	150	800	846	1900	370	420	580
LDA754AYH	750	545	560	125	750	796	1850	320	370	530
LDA754BYH	750	545	560	125	800	846	1900	370	420	580

ウォールキャビネット製品品番	L	M	N
LWZ600	400	あふれ面高さ750の場合	2250
LWZ600		あふれ面高さ800の場合	2300
LWZ750	550	あふれ面高さ750の場合	2250
LWZ750		あふれ面高さ800の場合	2300

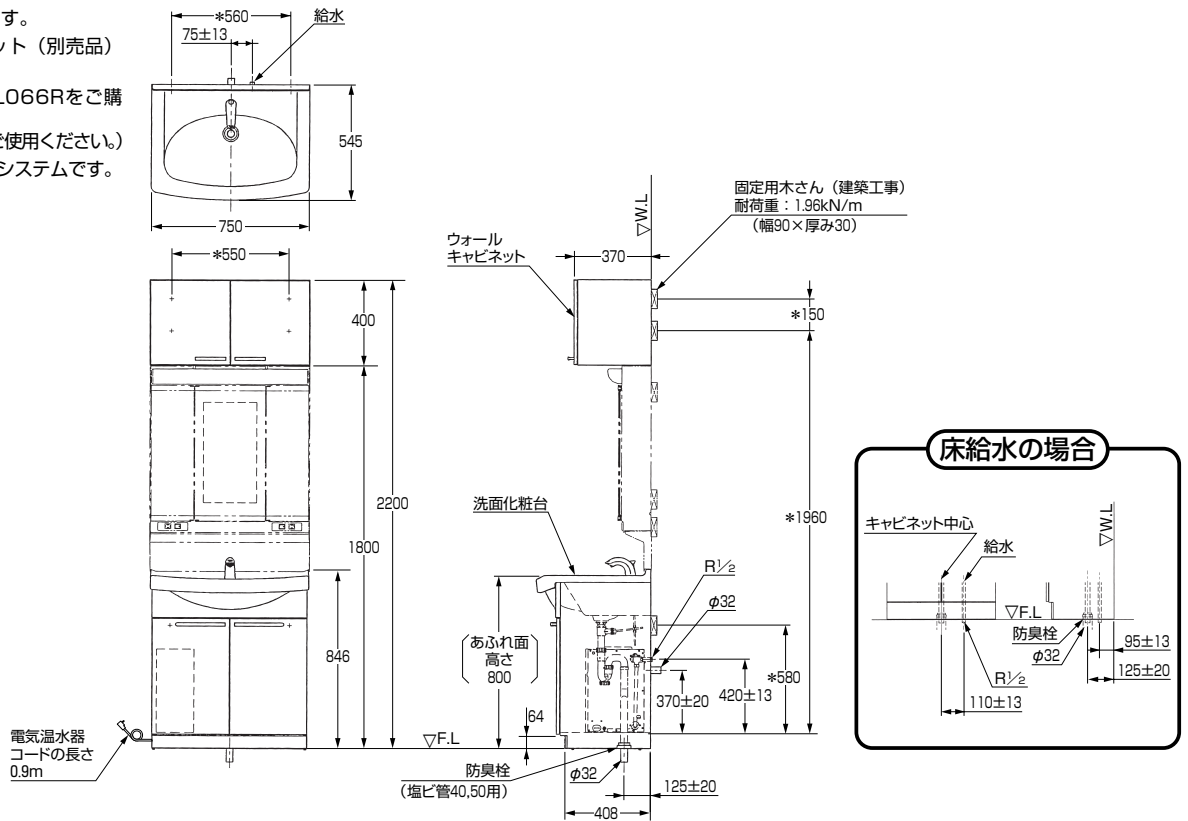
☆設置寸法 (H=1800対応：一面鏡の場合)

- 特殊品の場合の取付寸法は承認図を確認してください。
- 壁排水パイプは付属していませんので必要な場合は、LO94をご購入ください。
- 図はLDA754AYH+LWZ750タイプです。その他の機種は外観形状が若干異なります。
- *印は、木ねじ位置を示します。
- () 寸法は600サイズを示します。
- 床給水の場合は床給水ユニット (別売品) LO87をご購入ください。
- 配管王をご使用の場合は、LO66Rをご購入ください。
(洗面化粧台に同梱の止水栓をご使用ください。)
- 配管王とは、TOTOの樹脂配管システムです。



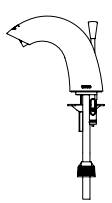
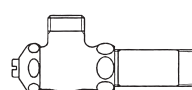
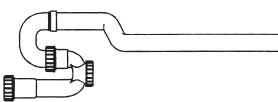
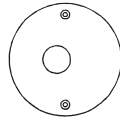
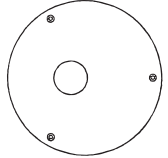
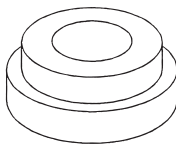



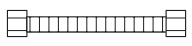
☆設置寸法 (H=1800対応：三面鏡の場合)

- 特殊品の場合の取付寸法は承認図を確認してください。
- 壁排水パイプは付属していませんので必要な場合は、L094をご購入ください。
- 図はLDA754BYH+LWZ750タイプです。その他の機種は外觀形状が若干異なります。
- *印は、木ねじ位置を示します。
- 床給水の場合は床給水ユニット (別売品) L087をご購入ください。
- 配管王をご使用の場合は、L066Rをご購入ください。
(洗面化粧台に同梱の止水栓をご使用ください。)
- 配管王とは、TOTOの樹脂配管システムです。




☆付属部品明細

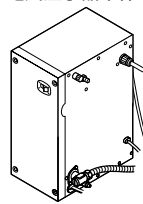

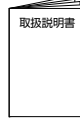

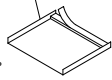

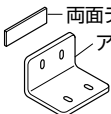

洗面化粧台 LDA

水栓一式	止水栓	排水トラップ	給水ふた	排水ふた
自動水栓 1セット 	1個 	1セット 	1個 	1個 
防臭栓 1個 	ふた用木ねじ (φ3×12) 5本 	壁固定用ねじ (φ5.2×55) 2本 	取扱説明書 1冊 	連結管 1本 

ウォールキャビネット LWZ

壁固定用ねじ (φ4.5×50) 4本 
--

電気温水器

電気温水器本体 	排水ホース L=300 	取扱説明書 	組立・設置説明書 	漏水誘導シート 
木ねじ (φ4×8) 2本 	両面テープ 	アングル 		

☆設置上の注意

- 湿気の多い場所では、木部が膨潤するおそれがありますので設置しないでください。特に浴室内には、設置しないでください。
- 直射日光にさらされる場所は必ずカーテンなどでさえぎってください。
- 取り付けは必ず平滑な壁面としてください。

☆使用条件

- 給水圧力は0.07~0.75MPaが必要です。

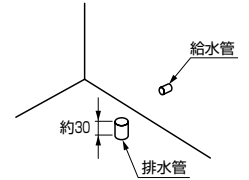
☆あらかじめ必要な電気工事

(必ず電気工事店にて工事してください。)

- 電源は、AC100V (50/60Hz)、温水器消費電力600Wに適した配線をしてください。
- 総消費電力が2000Wを超える場合は別配線を設けてください。
- 漏電による感電防止のため、アース工事を行ってください。(D種接地工事)

☆取付前の準備

- キャビネットの壁固定部分には、壁面に固定用木さんを入れてください。
※特にウォールキャビネットは洗面用具などが収納されるとかなりの重量になりますので、地震などの際に落ちることのないように、壁固定ねじ取付位置には、壁面に固定用木さんを入れてください。
(壁面に固定用木さんが取り付けられない場合は、前面に厚み12mm以上のJAS規格品の板を強固に取り付けてください。)
- 給水・給湯管を所定の位置に取り出してください。
- 器具を取り付ける前に必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。
- 化粧台に給水穴(φ52)、排水穴(φ90)を穴あけしてください。
- 排水管を所定の位置に取り出してください。
仕上げ面より30mm立上げてください。
(排水管はVU40、VU50またはVP40、VP50をご使用ください。)

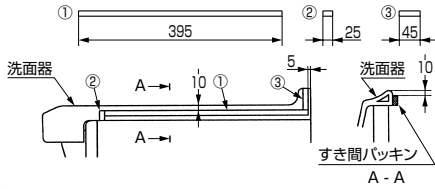


☆取付手順 (番号順に取り付けてください。)

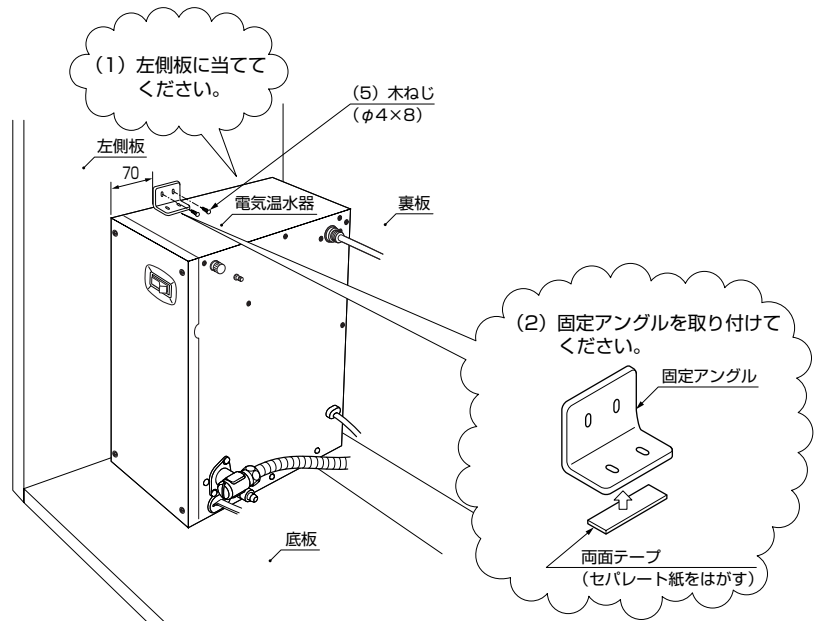
※タイル・コンクリート壁の場合は、現物に合わせて木ねじ位置に下穴をあけ、木ねじ用プラグを打ち込んでおいてください。
(プラグ用の下穴は必ずご使用プラグ指定のドリル径であけてください。)

① すき間パッキンの取り付け

- すき間埋めスペーサ(L078)およびトールキャビネットをセットする場合、すき間埋めスペーサおよびトールキャビネットに同梱されているパッキンを下記寸法にカットし洗面器に張り付けてください。

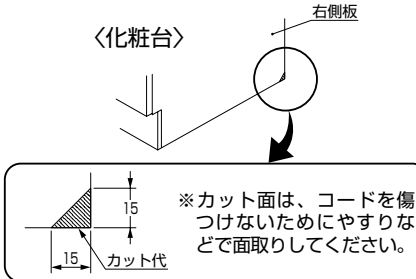


③ 電気温水器の取り付け



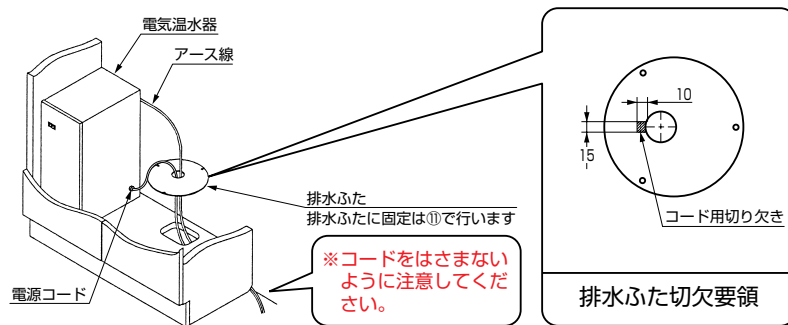
② 電源コード用の切り欠き

- 電源コードおよびアース線を取り出す側の側板を下図寸法でカットしてください。
- 下図の化粧台は、電源コードおよびアース線を化粧台に向かって右側に取り出す場合を示します。左側に取り出す場合は、これと対称になります。

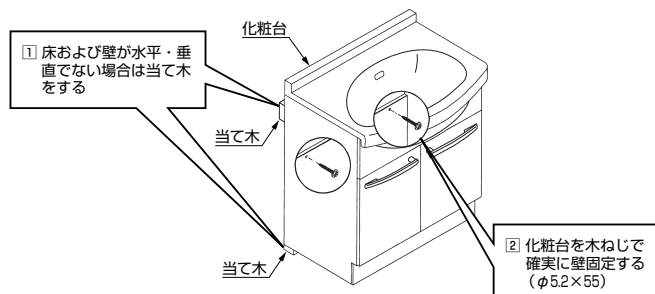


④ 洗面化粧台の取り付け

- (1) 電源コードおよびアース線を下図のように取り出してください。
 - 付属の排水ふたにコード用の切り欠きをつけてください。
 - コードは排水ふたを通し、切り欠き部よりキャビネットの外へ取り出してください。(下図参照)



- (2) 付属の木ねじ (2本) で壁固定してください。

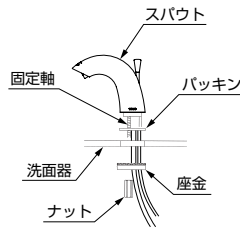
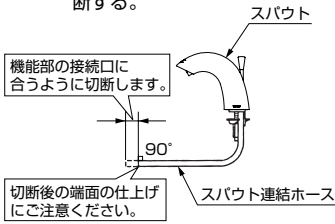


- 床および壁が水平・垂直でない場合には、扉に段差ができるおそれがありますので、丁番を調整して段差をなくしてください。(調整要領は扉裏面に張り付けのラベルをご参照ください。) それでも良くならない場合は、当て木をして水平になるように調節してください。

⑤ 水栓金具のカットおよび取り付け

(1) スパウト連結ホースを機能部の接続口に合うように適切な長さに切断する。

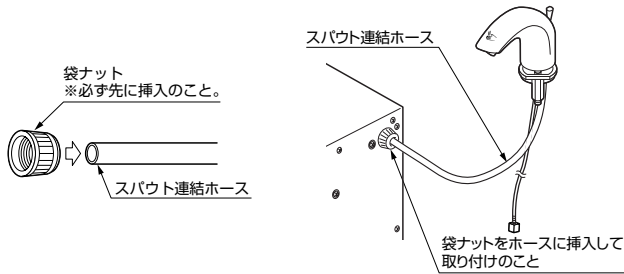
(2) スパウトを洗面器に取り付けてください。
 ●スパウト部取下部から、座金を取り付けた後、ナットで確実に締め付けてください。
 ※スパウト連結ホース、センサーコードのかみ込みに注意して取り付けてください。



●スパウト連結ホースが長すぎると、折れ曲がりによる吐水不良のおそれがあります。

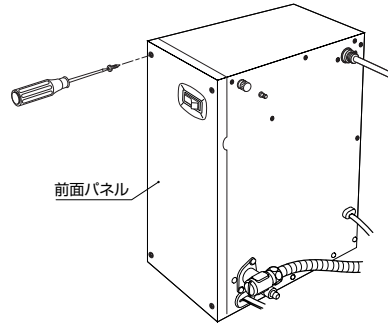
⑥ スパウト連結ホースの接続

(1) スパウト連結ホースに袋ナットを差し込んでください。
 (2) スパウト連結ホースを電気温水器の出湯口に差し込んだ後、袋ナットを締め付けてください。
 ※締め付けは、手締めにて行ってください。
 ※スパウト連結ホースは、折れ曲がりのないように注意してください。

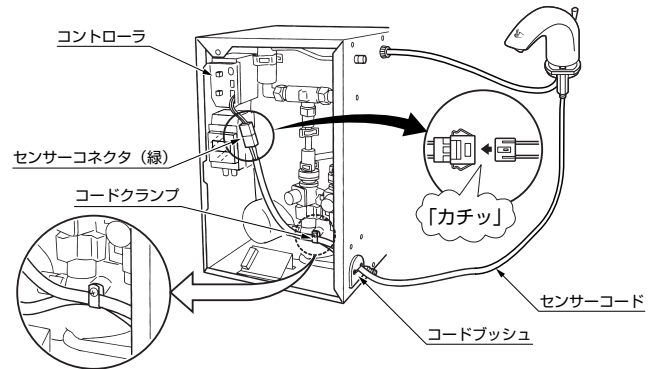


⑦ センサーコードの接続

(1) 前面パネルを取り外してください。(ねじ4か所)



(2) センサーコードをコードブッシュに通して、電気温水器内部に引き込み、コードクランプにて固定してください。
 ※コネクタはカチッと音がするまで差し込んでください。

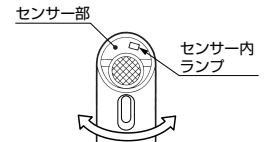


⑧ 水栓金具取り付け後の確認

※取付手順③～⑦まで完了しましたら下記確認ください。

(1) 電気温水器の電源プラグをコンセントに差し込んでください。
 (2) センサーに手をかざしたり、洗面器内に物を置いたりしない状態で、スパウト部のセンサー内LEDが点滅していないことを確認してください。
 もしも点滅していれば、スパウトの向きを少し変えて、点滅しないところで再固定してください。

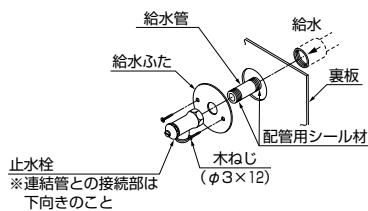
(3) 電源を入れて約10分後にLED点滅は自動的に消えます。自動消滅する前にスパウトの向きの調整作業が完了しなかった場合は、電源を入れ直して再度行ってください。
 [注] 電源が入ると、直ちに感知距離を自動設定しますので、センサーに手をかざしたり、洗面器内に物を置いたりしないでください。(約20秒間でこの動作は完了します)



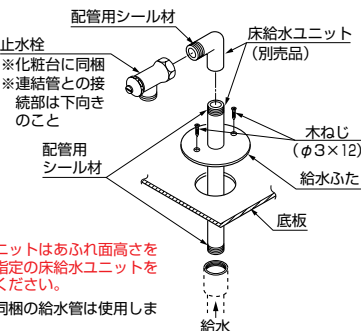
⑨ 止水栓の取り付け

●止水栓は工具で確実に締め付けてください。

壁給水の場合

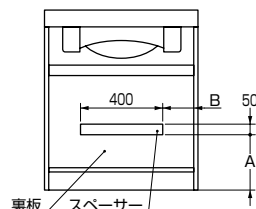


床給水の場合



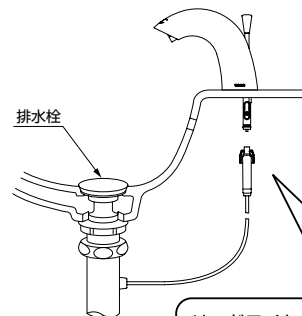
※床給水ユニットはあふれ面高さを確認して指定の床給水ユニットを使用してください。
 ※止水栓に同梱の給水管は使用しません。

●配管王対応はL066Rに同梱の施工説明書を参照してください。
 ※L066Rを使用するときは、スペーサーを右図の位置に取り付けてください。

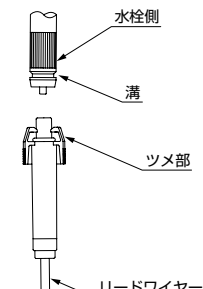


洗面化粧台 製品品番	A	B
LDA604A	300	75
LDA604B	350	
LDA754A	300	150
LDA754B	350	

⑩ リードワイヤーの接続



リードワイヤー側のツメ部が溝に入るまで差し込んでください。

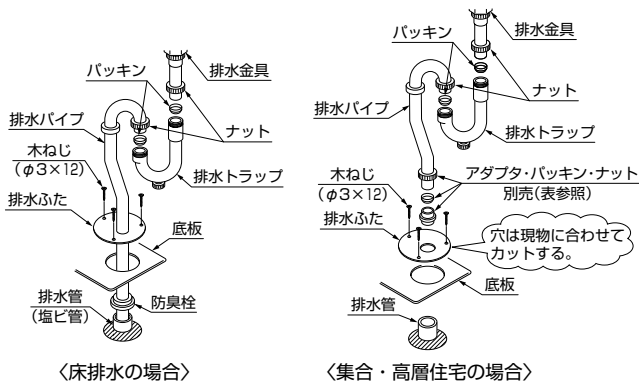


11 排水トラップの取り付け

- ナットは手で確実に締め付けてください。(工具は使用しないでください。)
- 床排水トラップの場合は、排水管に防臭栓をはめてトラップを差し込んでください。
- 集合住宅・高層住宅の場合、排水管とトラップの別売のアダプター(右表)で確実に接続してください。

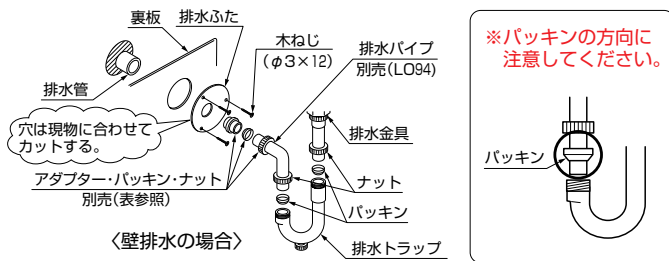
集合・高層住宅の場合

アダプタの種類	サイズ
T1122 (鋼管用)	R1 1/4
T1122J (塩ビ管用)	30用
LO48 (塩ビ管用)	40用
LO49 (塩ビ管用)	50用



〈床排水の場合〉

〈集合・高層住宅の場合〉

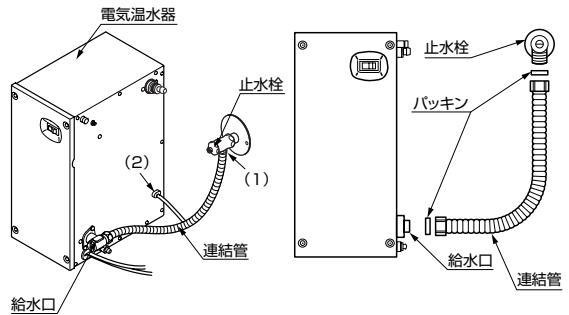


〈壁排水の場合〉

※パッキンの方向に注意してください。

12 連結管の接続

- (1) 止水栓と連結管を接続してください。
 - (2) 電気温水器の給水口と連結管を接続してください。
- 〔注〕 給水口に接続する前に必ず、止水栓を開けバケツ2杯(約20L)程度の水を捨ててください。(ゴミなどが機器本体内に入ると故障の原因となります。)

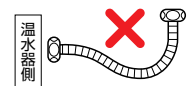


連結管は極端に折り曲げないでください。

連結管は逆勾配にならないように取り付けてください。



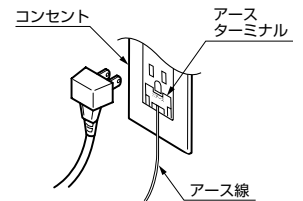
R40以上



温水器側

13 アース線の接続

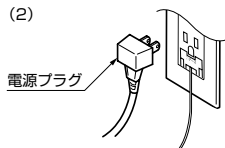
- アース線をアースターミナルに接続してください。



14 電気温水器への通水および通電確認

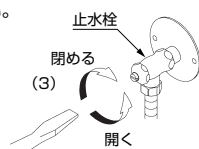
〔注〕 タンクが空のときは、絶対に電源スイッチを入れないでください。(空焚きとなり故障、やけどの原因になります。)

- (1) 電源スイッチが「切」になっていることを確認してください。
- (2) 電源プラグ(電気温水器用)を、コンセントの根元まで確実に差し込んでください。



〔注〕 タンクへの給水が完了するまで、電源スイッチは「切」のままにしておいてください。

- (3) 止水栓を開けてください。



- (4) タンク給水スイッチを押してタンクを満水にしてください。

※タンク給水中は、空気を巻き込んだ状態でスパウトから断続的に吐水します。満水状態になると吐水状態は安定します。(満水になったら、再度タンク給水スイッチを押し、水を止めてください。)



- ① センサーを動作させると初めは断続的に吐水されます。
- ② 水がいきおいよく出てくるとタンクは満水です。

注意

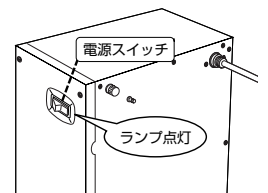
- タンク給水スイッチを押すと約5分間連続して水が出ます。(途中で再度スイッチを押すと、水は止まります。)約1分間しか水が出ない場合は電源プラグをコンセントより抜いて、5秒程度してから再度、電源プラグをコンセントに差し込み、タンク給水スイッチを押してください。
- 吐水状態が安定する前に水が止まったら、再度タンク給水スイッチを押して水の出方を安定させ、タンクを満水にしてください。

- (5) スパウトの動作確認をしてください。

- 吐水口に手を近づけると水が出ます。
- 手を離すと約1~2秒後に水が止まります。
- 手を約1分間連続して感知すると自動的に止まります。
- センサー前面から約4cmの位置に手をかざしたままにすると、その間(約1分間)連続して水が出ます。(センサー感知は学習方式のため、手を動かさないままにしていると約15秒で水が止まります。)

- (6) 配管接続部に水漏れがないか確認してください。

- (7) 電源スイッチを「入」にし、ランプが点灯することを確認してください。



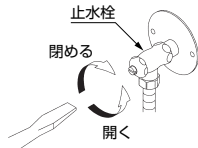
☆電気温水器の水抜き方法

〈水抜きの前に〉

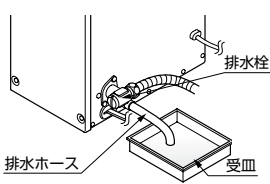
- 重要** 必ず電源スイッチを「切」にして電源プラグを抜いてください。
(空焚きとなり故障、やけどの原因になります)
- タンク給水スイッチを押して(又はスパウトのセンサー部に手をかざして)必ずタンク内の湯をスパウトから出しきってください。
(タンク内に湯が残っていると、やけどをするおそれがあります)
- ※スパウトから水が出はじめるまで、出湯してください。

〈水抜き手順〉

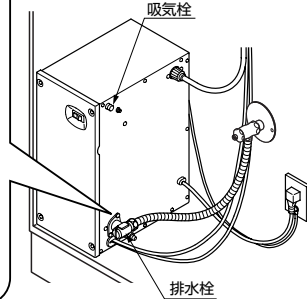
- (1) 湯を使い切ったら、止水栓を右に回して閉めてください。
- (2) 排水栓に付属の排水ホースを差し込み、左に回してください。
その後吸気栓を左に回して開けると排水を開始します。
(吸気栓は外してください。)
(タンクが満水の場合、水抜きは約8分かかります)



- ① 付属の排水ホースを排水栓に接続し受皿を置いてください。



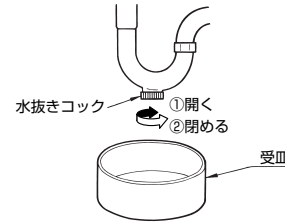
- ② 排水栓および吸気栓をいっぱいにかけてタンク内の水を抜き、排水ににじりがないか確認してください。



- (3) 排水栓を閉じてください。
- (4) 吸気栓を確実に閉めてください。

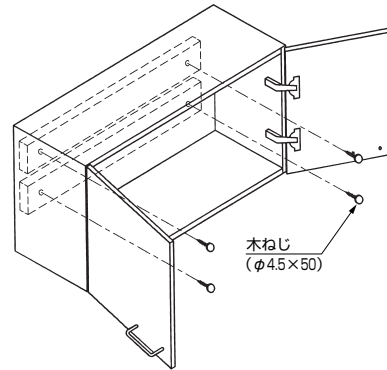
☆排水トラップの水抜き方法

- ① 水受けの容器を置き、水抜きコックを開いてください。
- ② 水抜き後は必ず水抜きコックを手で確実に閉めてください。
(工具は使用しないでください。)



☆ウォールキャビネットの取り付け

- ウォールキャビネットは、化粧鏡の上のせて、水平・垂直方向の位置合わせをしてください。
- 付属の木ねじ(4本)で壁に確実に固定してください。
※壁がゆがんでいるとキャビネット本体が、ゆがんで取り付けますので当て木を入れて、垂直に固定してください。



☆取付完了後の確認と清掃

- キャビネットが壁に確実に固定されていることを確認してください。
- 通水し、配管接続部に水漏れがないことを確認してください。
- 製品についた汚れ(プラスチック部品の静電気による黒い汚れを含む)は、ぬれた布をかたくしぼってふき取ってください。
その後、水を湿らせた布に少量の中性洗剤をつけてふき上げ、最後からふきしてください。
シンナー・ベンジンなどの使用は表面の変色・変質の原因となりますので、絶対に使用しないでください。
- 扉の段差・ガタの確認をしてください。
段差・ガタが発生している場合は、調整をしてください。